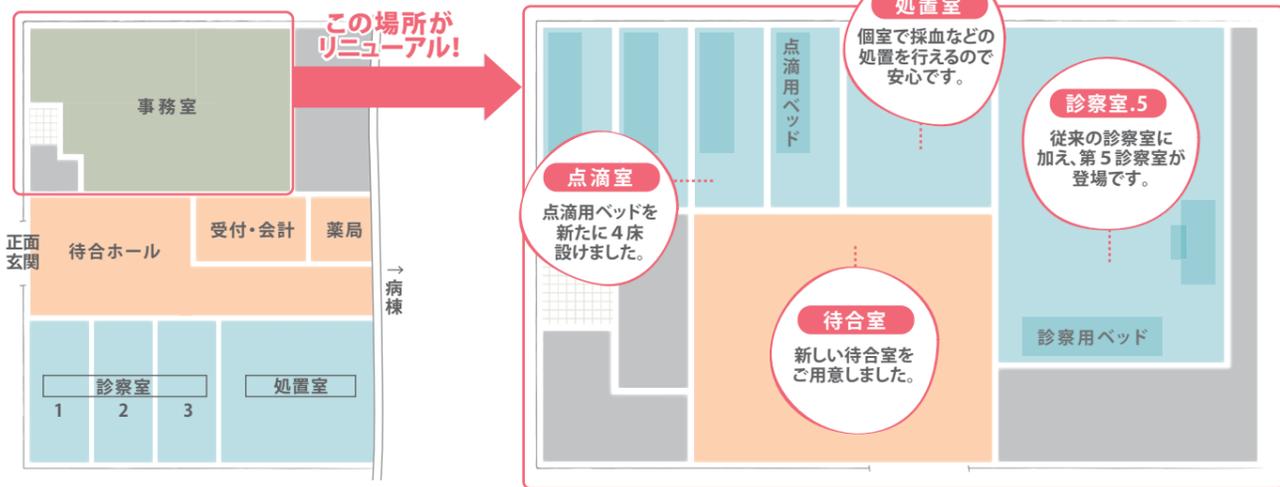


## 2014年2月、 病院の一部が新しくリニューアル!

待ち時間が短縮 院内環境が充実 診療ベッドが増加



### 今号の表紙

あつみほんとう  
場所: 渥美半島(愛知県田原市)



渥美半島に春をつける「菜の花まつり」(毎年1月~3月末)。期間中はいたるところで、黄色いじゅうたんが広がります。ライトアップやコンサートなどイベントもいろいろ。幸せの黄色いパワーをぜひ。

### 診察室などを増やし 待ち時間を減らす環境へ

少しでも患者さんの待ち時間を減らすため、今まで事務室だった受付奥のスペースを、診療スペースとして拡張し、「診察室」「処置室」「点滴室」などを新たに設けました。待合室もご用意しましたので、ゆったりとお待ちいただくことができます。

### 理念 家族を想う気持ちを大切にしたい

#### 基本方針

#### 1. 患者さま本位の医療

…患者さまに対して家族や大切な人を想う気持ちを持って接するよう心がけます。

#### 2. 地域への貢献

…24時間体制で地域住民に対して安心できる医療を提供できるよう努力します。

#### 3. 向上心と信頼関係

…私たち職員は、常に向上心を持ち、お互いに尊敬し、信頼できる関係でありたいと思います。

#### ■ 診療科目

**一般診療** 整形外科、内科、外科、消化器科、脳神経外科、リウマチ科、リハビリテーション科、皮膚泌尿器科、肛門科、放射線科、麻酔科

**特殊診療** CPAP(睡眠時無呼吸症候群治療)、AGA(男性型脱毛症)在宅酸素療法、禁煙治療、ED(勃起障害治療)

■ 病床数 60床(うち亜急性病床 10床)

#### ■ 診療日

	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	×
午後 4:00~ 6:00	●	●	●	●	●	×	×

休診日/日曜日・祝日・土曜日午後 ※救急・ケガ等の場合はいつでも診療いたします(24時間体制)

## 医療法人 山和会 山口病院

〒457-0836 名古屋市中区加福本通3-28

TEL **052-611-6561**(代) FAX **052-613-0333**

名鉄:「大江駅」下車、南へ150m

市バス: 新瑞橋13系統(左回り)/新瑞橋14系統「港東通」下車 神宮15系統「大江駅前」下車



日本医療機能評価機構認定病院

当院では、医療の質向上の取り組みとして、財団法人日本医療機能評価機構による審査を受け、平成22年4月2日付で認定されました。



ケータイ・スマートフォン  
サイトもご覧ください



<http://www.yamaguchi-hp.jp>

# やまぐち

患者さまと病院をつなぐ広報誌

2014 Spring

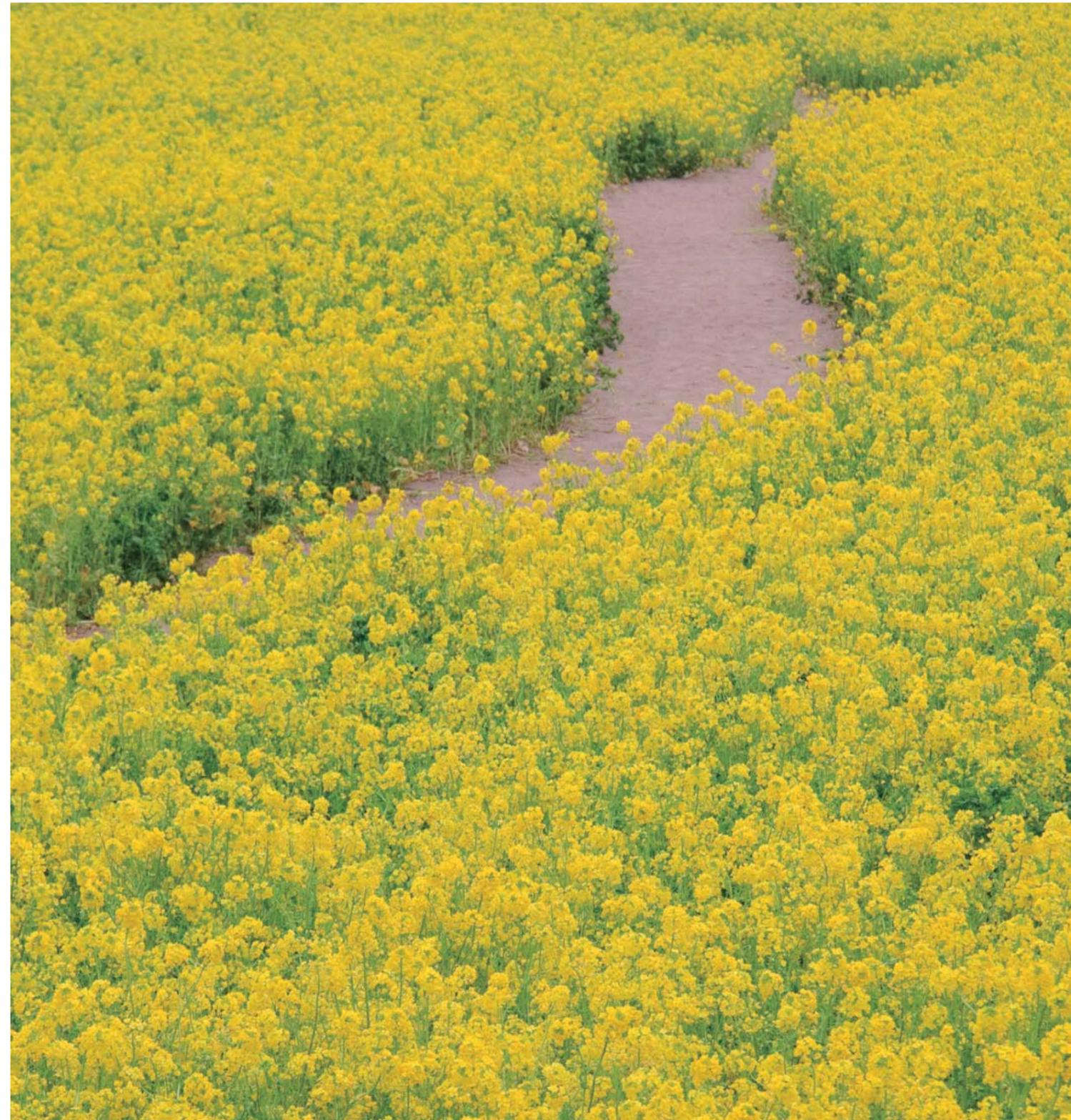
健康シリーズ

## 「糖尿病」

高齢化と共に、  
年々増え続けている糖尿病

●部門紹介【事務部】

●病院の一部が新しくリニューアル!



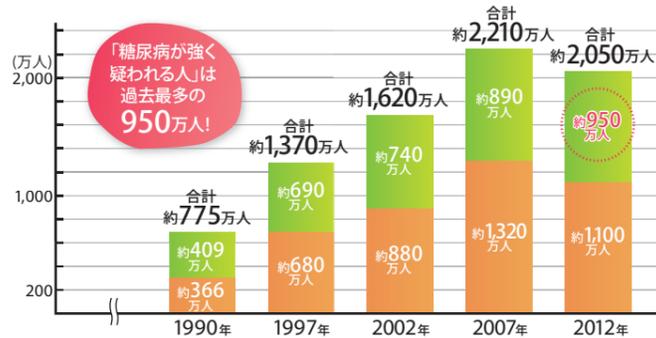
# 高齢化と共に、年々増え続けている

## 予備軍を合わせると5人に1人が糖尿病

1990年以降、急速に増えている糖尿病。厚生労働省の調べによれば、糖尿病とその予備軍を合わせると2,050万人で、国民の5人に1人に当たります。糖尿病には、自己免疫機能が関わる「1型糖尿病」という種類もありますが、日本人の場合、患者の大半が「2型糖尿病」。遺伝、加齢に加え、過食（とくに高脂肪食）、運動不足、肥満、ストレスといった環境因子が深く関わることによって発症します。

### 糖尿病人口の推移

\*2012年国民健康・栄養調査より(厚生労働省)



糖尿病が強く疑われる人

糖尿病の可能性を否定できない人

空腹時血糖値 126mg/dl以上  
 食後血糖値 200mg/dl以上  
 HbA1c 6.5%以上

空腹時血糖値 110~125mg/dl以上  
 食後血糖値 140~199mg/dl以上  
 HbA1c 6.0%以上

## 患者全体の6割以上を高齢者が占める

糖尿病患者を年代別に見ると、6~7割を高齢者(満65歳以上)が占めています。その主な理由は以下の4つです。

**インスリンの低下**

体内の血糖を下げる、すい臓からのホルモン「インスリン」の分泌が低下する **1**

**筋肉量が減る**

ブドウ糖を代謝する筋肉量が減る **2**

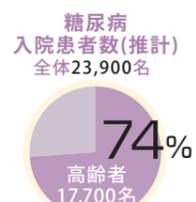
**おろそかな食事**

調理・買物が不自由となり、食生活がおろそかになる **3**

**不安・ストレス**

病気や老いの不安などストレスが増える **4**

糖尿病が悪化すると、腎症などの合併症を引き起こし、最終的には人工透析を受けることもあるので、過食、運動不足、肥満には十分気をつけましょう。



\*厚生労働省(2011)患者調査

**HbA1c**とは? ヘモグロビンに血液中の糖が結合したもので、過去1~2カ月の平均血糖値を表わし、血糖コントロール状態を反映する指標とされます。

# ている糖尿病

## 認知症や骨折などにはさまざまな危険が...

糖尿病の患者さんは、そうでない人に比べ、アルツハイマー型認知症の発症率が約1.5倍になるといわれます。ある研究によれば、低血糖を起こした回数が多いほど、認知症のリスクが高まることも明らかに。認知症予防という面からも血糖コントロールはとても重要です。また、糖尿病の患者さんはケガが治りにくいため、転んで足を骨折すると、長期入院を招いたり、足腰がいっそう弱って寝たきりになったりするケースも。適度な運動や骨粗しょう症の治療など、転倒や骨折を回避する予防を日頃から心がけたいものです。

### 糖尿病によるリスク

高齢の糖尿病患者さん

**リスクが高まる!**

- 認知症
- 骨折・転倒

**対策**

- 日々の血糖コントロール  
目標値 HbA1c 7.0%未満  
年齢や症状によって目標値は異なります。
- 適度な運動
- 骨粗しょう症の治療

ドクターからのメッセージ  
MESSAGE FROM DOCTOR

**血糖値が改善する喜びをぜひ味わってほしい**

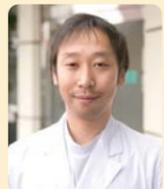
当院の糖尿病患者さんの平均年齢は69歳\*と高齢の方が多い傾向です。また、整形外科に強い病院ということもあって、腰や膝に病気を抱え、運動療法が困難な方も少なくありません。こうした患者さんの状況を十分に考慮したうえで、1人ひとりにとって、より良い食事療法や薬物療法などを提案し、患者さんやご家族の方ともよく話し合っ

て治療を進めています。少しでも血糖値が改善する喜びを、ぜひ皆さんに感じていただきたいですね。

69歳\* 2013年5月時点のデータ

**近藤 貴昭**

一般内科、糖尿病、内分泌担当。年に数回、院内で「糖尿病教室」を開くなど、患者さんとのコミュニケーションを大切にしている。



**部門紹介 最終回【事務部】**

●オールラウンドプレイヤーを目指して

事務部は20代から60代まで、あらゆる年代が14名集まった、幅広い年齢層の職場です。仕事は医療事務、経理、保全・修繕、受付とさまざま、担当を明確に分けるというより、どの仕事も理解できるよう、みんながオールラウンドプレイヤーを目指しています。また、患者さんの気持ちになって、病院改善に取り組むことも大切な仕事のひとつ。かねてから課題だった「待ち時間」については、昨年末に院外処方箋をスタート、今年2月には院内を改装し、診察室と待合室を新たに設けることで、少しでも患者さんの待ち時間を短くするよう、職員一丸となって取り組んでいます。

笑顔をたやさない受付

※院内の改装については裏表紙をご覧ください



事務長 杉浦 保



職場のスタッフたち

事務部は部内の仕事に加えて、他の職場との調整や連携を図ったり、やりとりが円滑に進むようサポートしたり、いわば潤滑油的な役割も担っています。入社して28年目になりますが、私たちは「縁の下の力持ち」でいたいと思っています。だからこそ課題も多く、とてもやりがいのある仕事です。

**私とやまぐち**

結婚・出産を経て、パートの看護師として復帰してしばらくたった頃。山口病院で働いている看護師の友人から「ここは職員思いの病院だよ」と聞き、中途で入社させていただきました。実際に働いてみると、まだ子育て中だった私を、同僚の方々がサポートしてくださり、勤務日の調整もきちんとしてただけて、友人が言ったことは本当だったと実感しました。驚いたのは、朝と夕方、理事長自らが病棟に顔を出され、回診はもちろんのこと、夜勤明けのスタッフには「すまないね。ごころうさん」とお声がけをされること。土曜も、日曜も、休みなく。そういう患者さんやスタッフ思いのお姿を拝見して、

**「職員思いの病院」は本当でした。**

「もっと私も頑張らなくては」と気持ちが奮い立ちます。子育て中、理事長を始め、同僚の皆さんには本当にお世話になったので、その恩返しのため、自分にできることはどんどんやっていきたいと思っています。

**Profile**

看護部長代理 谷田福子

長崎県出身。名古屋の正看護師学校で学びながら病院勤務。結婚・出産を経て、1996年山口病院に入職。2012年看護部長代理。

